



— [会社概要] —

リコーグループ内で唯一のソフトウェア開発
 専門企業として、複写機・複合機のソフトウェ
 アやクラウドサービスの開発・保守を手掛け
 る。
 高度な画像処理技術やセキュリティ関連、VR
 など、リコーが提供する多様なソリューション
 を支え、グループのDX推進の中核を担う。
 柔軟な働き方制度を整備し、育児休業取得率
 は男女ともに100%を達成。

会社HP



採用ページ



X(旧Twitter)



会社名:リコーITソリューションズ株式会社
 (鳥取事業所)

業種:情報・通信業

場所:〒680-0911 鳥取市千代水1-100
 アイシン千代水ビル7階

【企業をひとことで(誰に向けて・何を提供している会社か)】

誰に?:リコーグループおよび一般企業に

何を?:学校や会社で使うコピー機やプリンターの「頭脳」となるプログラムや、
 企業の仕事をスムーズにする便利なシステムを作っている

経営者インタビュー

【経歴(野水さん)】

1986年にリコーに入社し、技術開発の最前線でコピー機やプリンターの中核シ
 ステム開発に携って来ました。国際標準化委員として世界中の技術者と協働し
 た経験も持っています。2024年4月からはリコーグループ CTO およびリコー IT
 ソリューションズの社長を務めています。

【経歴(印田さん)】

1990年に入社し、事務系システム開発からスタートしました。その後、自ら希望
 して複写機開発に携わり、カラーコピー機開発やクラウドサービスの立ち上げな
 ど、新規事業にも挑戦してきました。現在は開発部門全体を統括し、新たな技術
 開発を推進しています。

【会社の「”はたらく”に遊びを」というスローガンについて、
 実際に働いていて楽しさは感じますか?】

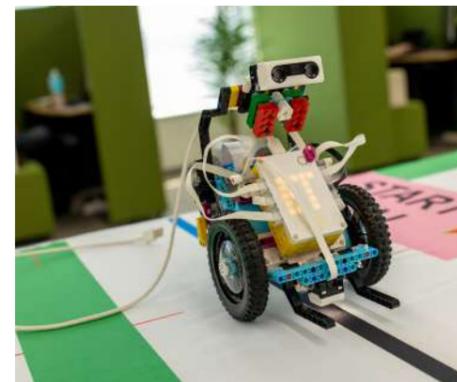
野水さん:仕事は本当に楽しいですね。特にリコー IT ソリューションズでは、若
 い社員たちが自分なりの発想で新しいことに挑戦する姿を見るのが私の喜びで
 す。会う人会う人が「この会社を良くしたい」「自分の力をつけていこう」という向
 上心を持っています。

【これまでのキャリアの中で、
 最も考えさせられた経験は何ですか?】

野水さん:あるプロジェクトで、技術的な課題が山積みの中、部下たちから「この
 ままでは先が見えない」という声が出る一方、上司からは「なんとしても進め
 る」と言われ板挟みになりました。悩んだ末、「目先の成果より部下たちの成長が
 大切」と考え、計画の見直しを提案。結果として部下たちとの信頼関係が深まり、
 チームワークが更になくなりました。この経験から、若手社員には明確な目標と
 適切なサポートのもと、着実に成長していける機会を提供したいと考えようにな
 りました。

【その経験を活かして、
 社長として大切にしていることは何ですか?】

野水さん:私の信条は「仕事は人と人でやるもの」ということ
 です。組織図でいえば、私は逆さまのピラミッドを意識しています。
 社員が一番上にいて、社長の私が一番下で支える形です。
 月の半分は各拠点を回って社員と直接対話し、一人一人の考
 えを聞き、それぞれの成長をサポートすることで、会社全体の発展
 に繋がると考えています。



役職:代表取締役 社長執行役員
 のみず やすゆき
野水 泰之さん



役職:執行役員/CTO
 開発統括本部 本部長
 いんでん よしひさ
印田 悦久さん

【学生時代にやっておくべきことはありますか?】

印田さん:自分の経験から言えば、様々なことにチャ
 レンジすることが大切です。ただし、単に経験を積む
 だけでなく、「この技術を自分のものにするぞ」という
 意識を持って取り組むことが重要です。私自身、事務
 系システムの開発から始めて、自ら希望して複写機
 開発に挑戦しました。その際の「新しいことを学ぶ」
 という姿勢が、今でも私の財産になっています。



社員インタビュー



森岡 隆さん

入社歴:入社2年目
所属:第3開発部 第2グループ
出身:和歌山県(鳥取大学工学部卒業)

Q 入社を決めた理由を教えてください。

ITの授業はほとんど受けていませんでしたが、独学でプログラミングを勉強していて興味がありました。会社説明会で社員の方々とお話しして、未経験からでもチャレンジできそうだと感じ、会社の雰囲気の良いさに惹かれて入社を決めました。実は、他の会社は「社会人になったら自分の時間が取れなくなるのでは」という不安があったのですが、ここなら働きやすそうだと感じました。実際、入社後もその印象にギャップはありませんでした。

Q 働き方の特徴を教えてください。

週1回程度の出社で、ほとんどリモートワークです。学生時代は夜型だった生活も、今では仕事と生活のリズムが整い、しっかり睡眠時間も取れています。フレックスタイム制度を活用して、自分のペースで効率よく働けているのが良いですね。リモートワークが中心ですが、出社時のコミュニケーションも大切にしています。例えば社内には「社長のおごり」で無料の自動販売機があるんですが、飲み物を取るには必ず他の社員と一緒に社員証をタッチしないとイケない仕組みになっています。これが自然な会話のきっかけになっていて、素敵な工夫だなと思います。



Q 地域との関わりについて教えてください。

小学校でのプログラミングの出前授業に参加していますが、子どもたちの目が輝くのを見ると地域貢献を実感できます。都会と比べて通勤のストレスが少なく、趣味の時間も十分に取れるので、プライベートも含めて充実した生活が送れています。

長谷坂 美郁さん

入社歴:入社〇年目
所属:
出身:鳥取県出身(鳥取大学 地域学部卒業)

Q 入社を決めた理由を教えてください。

私は新しいことを学ぶのが好きで、パソコンを使う仕事に興味がありました。ITの知識は未経験でしたが、会社説明会で柔らかい雰囲気を感じ、ここで働いてみたいと思って決めました。実際に働いてみても、他のIT企業と比べて圧倒的に明るい雰囲気だと感じています。

Q 社長との距離感はどうですか？

社長は社員一人一人の趣味や興味を本当に知りたがってくださいます。特に新入社員との会話を大切にされていて、「社長」という肩書を忘れるくらい、楽しく話ができる方です。プライベートな話もたくさんさせていただき、一人一人に興味を持ってくださっている印象が強いです。



Q 地域との関わりについて教えてください。

社内イベント「ファミリーデー」の運営に関わっていて、社員の家族の方々と交流する機会があります。また、プログラミングの出前授業や清掃活動など、様々な地域活動に参加できるのが魅力です。会社全体で地域との距離が近く、地元のメディアで取り上げられるような活動も多いので、地域に根差した企業だと実感しています。



学生インタビュー



影田れいさん 地域学部 1年

今回初めて企業訪問を行いました。「仕事」「働く」と聞くと、誰も固い印象を持ちがちだと思います。私もそのような印象を持っていたのですが、オフィスに入った途端、印象との違いにとっても驚きました。ここには、自分の落ち着いた環境で働くことができる社内や個々のことをきちんと見てくれる社員同士の環境が備わっていました。社員のことを一番に考えている会社だと、今回話をうかがって強く感じました。今回この企業に訪問できてよかった!と心から思えます。

濱崎大輝さん 地域学部 3年

まず、鳥取にこんなオフィスの会社があるのか!と驚きました。働く環境だけでなく、上下関係にとらわれずコミュニケーションをとりやすい仕組みや、働きやすさをサポートする制度が充実しており、社員の方々が「働きやすい・もっと働きたい!」と思えるような工夫が多く見られました。「リコーウェイ」の企業理念のもと、鳥取では数少ないITに携わる仕事に自分自身も大変興味を持ち、充実したお話ができたことは非常に良い経験となりました。

